



会報

東京都中学校長会

平成 29年3月9日

第 388 号

発行	東京都中学校長会
	会長 常盤 隆
〒105	港区西新橋 1-22-13
-0003	全日本中学校長会館202号
電話	03 (3504) 8705
FAX	03 (3504) 8706

〈巻頭言〉

主体的・対話的で深い学びに向けた 教育環境の整備

会長 常盤 隆

(立川市立立川第二中学校長)

「中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会」が開催される平成29年度をまもなく迎えます。これまで準備を進めてくださっている関係の皆様、ありがとうございます。皇族のご臨席を賜る記念式典、全国から3,600名近くの会員を迎える東京大会の準備につきましては、東京都中学校長会の全会員の協力なくしては進めることができません。4月から新たな体制で本格的な準備が始まり、いよいよ実際に作業を進める段階に入っております。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、中学校教育70年の大きな節目を迎えようとする時、およそ10年ごとに行われる学習指導要領改訂がありました。昨年12月21日に「中央教育審議会答申」、2月14日に「学習指導要領(案)」が公表されました。今回改訂の特徴は、学習内容面の大きな変更がない一方、授業改善を重視していることです。生徒に身に付けさせたい資質・能力を基に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で教科等の内容を整理し、生徒が「何ができるようになるか」を明確にするねらいがあります。この力を確実に定着させるため、授業での「主体的・対話的で深い学び」の実現を掲げて総則や各教科などの内容を定めています。そして、単元計画の効果的な実施方法を考える「カリキュラム・マネジメント」を一人一人の教員に求めています。

今回の改訂で特に重視しているのは、知識の理解の質を高め、資質・能力を育むため「深い学び」へとつなげる授業改善です。このことについて文部科学省が「学習指導要領(案)」と同時に公表している「幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等の改訂のポイント」の「我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善」の項目では、次のような説明があります。

「小・中学校においては、これまでと全く異なる指導方法を導入しなければならないと浮き足立つ必要はなく、これまでの教育実践の蓄積を若手教員にもしっかりと引き継ぎつつ、授業を

工夫・改善する必要」があるとしています。また、「教員が授業準備などを行う時間を確保するために、16年ぶりの義務標準法改正による計画的な教職員定数の改善などの条件整備や運動部活動ガイドラインの策定による業務改善などを一層推進」とあります。



これまで小・中学校においては授業改善に取り組み、児童・生徒に確かな学力、生きる力がつけられるよう努力を重ねてきています。今後もその努力を重ねていくのですが、そのための学校教育の環境改善を同時に進めていかなければ、質の向上は図れません。上記の文部科学省の資料でも「業務改善などを一層推進」との表記があります。

東京都中学校長会では、今年度各部、各委員会等を中心に都内中学校教育の成果と課題の整理及び改善に向けた提言を行うとともに、毎月定例会において諸課題に関する情報交換を行ってきました。情報交換は回を重ねるごとに内容の質も向上し、貴重な情報集約及び課題の整理ができ、その内容を踏まえて東京都教育庁人事部、指導部との連絡会で協議し、課題を共有することを通して施策へ反映されています。中でも教育管理職受験者の不足は喫緊の課題であり、受験要件について見直しがされたことは成果の一つです。

今後も教育環境の改善に向けて会員の皆様と伝え合い、支え合い、学び合える会にしていきたいと考えています。皆様のあたたかいご支援をいただき一年間会長を務めてまいりました。皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございます。

1月 地区代表者連絡会報告

2月 区市等校長会長連絡会報告

■ 1月 地区代表者連絡会

日時 平成29年1月17日(火) 15時～17時

場所 新宿コスミックセンター

1 会長あいさつ

- 年頭あいさつ
- 中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会について
 - ・第5回準備委員会(12月13日)報告
 - ・当日のセキュリティの強化について
- 東京都公立小学校長会との連絡会(12月8日)報告
- 平成29年度東京都中学校長会定期総会・研究発表会に伴う第1回拡大実行委員会について
 - ・品川区立荏原第六中にて開催(12月12日)
 - ・第1ブロック代表者と4月20日(火)の当日に向け、準備等について確認

2 行政説明

- 大都市防犯ネットワークの活用について
東京都青少年・治安対策本部
安全・安心まちづくり課長 金子 しのぶ 様
- 東京都多摩教育事務所の取組について
東京都多摩教育事務所
指導課長 相原 雄三 様

3 協議

- 平成29年度役員定数の改定について
 - ・副会長定数を5人から4人に戻す案を承認

4 連絡・報告事項

- (1)各部・各委員会より
 - 【総務部】
 - ・会報用退職校長一言集原稿執筆依頼、活動方針案についての意見集約依頼
 - 【教育対策部】
 - ・予算等に関するアンケートについて
 - 【生徒指導部】
 - ・研究大会の発表資料、ホームページから閲覧可
 - ・第4回研修案内(29年2月16日、自殺防止等)
 - 【人権教育推進委員会】
 - ・研修案内(29年2月6日、都教職員研修センター)
 - 【進路対策委員会】
 - ・都立高校志望校調査協力の御礼
 - ・平成30年度都立高校入試日程について

5 情報交換等

- ・特別支援教室設置に向けて
(モデル事業実施地区の報告)
- ・人事異動について

6 事務局より

- ・平成29年度東京都校長会の行事予定について等

■ 2月 区市等校長会長連絡会

日時 平成29年2月10日(金) 15時～17時

場所 新宿コスミックセンター

1 会長あいさつ

- 第8回中学生「東京駅伝」大会(2月5日)の御礼
- 都立高校願書提出時における書類等の不備をなくすことについて
- 中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会に向けて
 - ・第3回理事会、第6回準備委員会報告
 - ・当日のセキュリティの強化について等
- 連絡・報告事項
 - ・平成29年度教育庁新規事業について

2 行政説明

- これからの東京都教育庁の人事行政について
東京都教育庁人事部
主任管理主事 平田 英司 様
- 都立高等学校等における発達障害教育環境の整備について
東京都教育庁都立学校教育部
発達障害教育推進担当課長 西山 公美子 様
- 組体操実技講習会について
東京都教育庁指導部
体育健康教育担当課長 佐藤 浩 様

3 連絡・報告事項

- (1)役員会より
 - ・全日中東京大会に向けての役割分担等
- (2)各部・各委員会より
 - 【総務部】
 - ・平成29年度活動方針案について
 - ・マナー講習会について
 - 【会計部】
 - ・平成29年度教育庁所管事業予算について
 - 【人権教育推進委員会】
 - ・2月6日研修会の御礼(145名参加)
 - 【進路対策委員会】
 - ・都立高校への同意書に関する問題について
 - ・書類不備への対応について
 - ・生徒から中学校への連絡方法について
 - 【修学旅行対策委員会】
 - ・委員会の調査結果冊子の活用について
 - ・北陸新幹線の連合体輸送について

4 事務局より

- ・4月当初の地区代表者の連絡先の調査について
- ・次年度退職者の把握調査について
- ・次年度都校長会年間予定表(第4案)について
- ・新設校・統廃合の連絡依頼について
- ・高齢者叙勲について

各部・委員会報告

平成 28 年度 人権教育推進委員会 活動概要

人権教育推進委員会委員長 並木 浩子
(昭島市立清泉中学校長)

1 活動方針

東京都教育委員会の基本方針の第 1 には【「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】が示されている。「多様な人々が共に暮らす東京にあって、すべての大人、子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。」また、人権教育の目標として「一人一人の幼児、児童、生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に表れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることである。」とある。この基本方針・人権教育の目標に基づき、東京都公立中学校長として、各学校・関係機関との連携を密にしつつ、研究活動を推進する。

さらに、東京は学術、文化、経済など様々な分野でグローバル化が進展している中、多様な文化を受け入れ、東京に暮らすすべての人々が分け隔てなく自己の能力を発揮できる社会を作り上げていく必要があるとの観点から、平成 27 年 8 月に改定された東京都人権施策推進指針を踏まえ、人権教育推進中の様々な課題解決に向けた研修に取組む。特に、今年度は「いじめ問題及びその防止への対応」「児童虐待の早期発見と適切な対応」「体罰の根絶」等を中心に取り上げるとともに、オリンピック・パラリンピック教育における人権教育に取組む。

2 活動の内容

(1) 人権教育研修会の開催

東京都教育庁指導部指導企画課と連携を図って、東京都公立中学校長全員を対象とした研修会（講演会）を開催する。

日時 平成 29 年 2 月 6 日（月）

会場 東京都教職員研修センター

講師 特別非営利活動法人 ReBit

(2) 地域視察（管外研修）

都内や他府県の人権教育推進校、人権施策推進地域や関連施設等を訪問・視察し、学校や地域の状況や実態について研修を深めるとともに、情報や資料を得て、東京都の中学校教育並びに自校の人権教育に役立てる。

① 地域視察Ⅰ（半日研修）

日時 平成 28 年 7 月 29 日（金）

視察先 国立ハンセン病資料館

② 地域視察Ⅱ（管外研修）

日時 平成 28 年 11 月 10 日（木）

視察先 千葉県教育委員会、国立歴史民俗博物館

(3) 定例会の開催（年 7 回開催）

(4) 研究紀要の作成

1 年間の研究の成果を研究紀要（人権教育推進資料）としてまとめ、都内全公立中学校に配布する。

平成 28 年度 進路対策委員会 活動概要

進路対策委員会委員長 神田 正美
(小金井市立緑中学校長)

1 活動方針

(1) 進学対策

平成 29 年度の国・公・私立高等学校等の入学者選抜制度及び実施上の諸問題についての改善を図るため、関係諸機関と緊密な連携を図って対策を講じる。その方策として、確かな学力の定着を図り、勤労観・職業観を育成し、自らの生き方を考えさせるキャリア教育の視点に立った進路指導を推進する。

(2) 就職対策

中学校の進路指導における就職指導の位置付けを踏まえ、生徒の自己実現に向けた就職と定着指導などのための対策を検討・協議する。

2 活動の重点

- (1) 進学・就職に関する諸問題の調査・検討及び対策
- (2) 進路指導にかかわる諸調査及び諸事務
- (3) 国・公・私立高等学校等の入学者選抜に関する諸問題の調査・検討及び対策
- (4) 関係諸機関・諸団体との連携・協力・要望
- (5) 就職する生徒についての調査・指導

3 活動の内容

(1) 進学対策

- ① 入試日程への対応及びその期間の適正化について
- ② 推薦入試選抜制度及び一般入試選抜制度に関する改善と定着について
- ③ 隣接他県の入試制度の動向等の情報把握について
- ④ 「学校説明会」「入試相談」のあり方について
- ⑤ 成績一覧表、調査書等、諸書類の適正な作成について
- ⑥ 「高等学校等志望予定調査」の実施と進路指導の情報提供について
- ⑦ 「高等学校等入学者選抜に関する問題点調査」の実施と次年度への改善について
- ⑧ 関係諸機関との連絡・協議・要望

(2) 就職対策

- ① 職業安定所（ハローワーク）の就職業務への協力と連携について
- ② 学校関係及び関係諸機関に対する就職生徒への激励の要請と定着指導及び関係諸機関・諸団体・諸学校との連絡・協議について

(3) 定例会の開催（年 9 回開催）

退職校長一言集

□中央区立銀座中学校 加藤 譲司

36年間の教職生活は、楽しいときもあれば辛いときもありました。憧れだった仕事に就き、多感な生徒たちの成長にいくらかでも関わったことは人生最大の幸せでした。先輩、上司、同僚、保護者や教え子、そして「我が家族」に支えられてきたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

□中央区立晴海中学校 小谷 周一

たくさんの皆様に支えられ退職の年を迎えることができました。教頭論文の書き方を教えていただいた職場の先輩、校長任用前論文を添削していただいた地区の先輩校長、悩んだ時に相談にのっていただいた都中学校長会の皆様に感謝です。本当にありがとうございました。

□港区立三田中学校 渡邊 常次

大変充実した教員生活を過ごすことができました。これも、仲間の校長先生方の支えがあり、様々な場面で助けていただいたおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

□港区立お台場学園港陽中学校 新庄 恵子

変化の激しい時代を現在まで教職を続けてこられましたのは、多くの皆様、諸先輩方に支えていただいたお陰と心より感謝いたします。グローバル化が進む中、多様な人々と協働し何ができるのか考えていきたいと思えます。

□港区立白金の丘学園白銀の丘中学校 伊藤 俊典

「光陰矢の如し」38年間の教職生活は走馬灯のように目に浮かんできます。この間、多くの先輩、同僚、後輩に大変お世話になりました。校長として赴任した3校では、多くの教職員に助けていただきました。振り返ると「感謝」しかありません。ありがとうございました。

□新宿区立牛込第三中学校 中込 友則

校長職10年間務めて参りました。校長として経営者である前に教育者でありたいと考え、校長は学校の羅針盤であるとの思いから職務に専念してきました。これまで都校長会や新宿区校長会の多くの皆様に支えられて職務を全う出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

□新宿区立四谷中学校 東 孝夫

教職が第一希望でなかった私が、教職を35年間勤め上げられるとは思ってもみませんでした。『「自分がこの仕事をしている」ではなく「この仕事をしている自分」ということを忘れてはいけない』とご指導いただいた大先輩の言葉が大きな支えでした。感謝申し上げます。

□新宿区立落合第二中学校 島田 一宣

34年間の教員生活を何とか終わることができました。校長として、学校経営の面白さや難しさを感じながら仕事をしてきました。様々な場面での応援や労いの言葉をいただき、感謝の一言につきます。これからの人生は少しでも恩返しができ

ばと思っております。

□文京区立第八中学校 神保 道隆

第九・第八中学校に7年間お世話になりました。すばらしい生徒、熱意ある教職員、そして見識豊かな校長先生方に支えられた七年を振り返ると、辛いことや苦しいことは何一つなく、生徒たちの輝く笑顔ばかりが浮かびます。得難く貴重な思い出を頂戴し、感謝いたします。

□文京区立本郷台中学校 森 由紀男

人に迷惑をかけるなど言っている自分が一番周りに迷惑をかけている、と気付いたのはいつの頃だったか…。迷惑をかけるのは生きている証拠、と開き直る度胸もなく、その後も周りを気遣っている振りをしながら迷惑をかけ続けてきた。このまま世に憚るのか。

□江東区立第二砂町中学校 伊藤 雅夫

「還暦」：数え年61歳のこと。本卦かえり。60年すると再び生まれた年の干支（丁酉）にかえることから。

「耳順」：60歳のこと。『論語』為政の「六十而耳順」に基づく。少しは大人の境地に達せたのでしょうか。

「謝恩」：ありがとうございました。一言に尽きます。

□江東区立第二南砂中学校 峰岸 利一

あつという間に過ぎ去った思いを強く感じています。常に一番若く、送り出す専門だった私が、気付けば送り出される立場になるうとは、まったく考えもしなかったことです。今でもまだまだたくさん学ぶことがあるぞと、まるで新採の頃から時が止まってしまっているようです。

□大田区立貝塚中学校 岩崎 数弘

教師生活38年、いろんな場面が想いおこされます。たくさんの貴重な学びと素晴らしい出会いがありました。特に生徒との関わりは私を成長させ、大きな財産となりました。すべての皆様に感謝です。まだまだやれると気概が湧いてきます。通過点として頑張ります。

□大田区立大森第三中学校 山中 正明

多くの方に助けられ、支えられて勤め上げることができた37年間の教員生活でした。健康でここまでこられたことが何よりの幸せです。生徒や先生方からいただいたたくさんの宝物を、次世代に伝えていくことが私に残された仕事だと思っています。ありがとうございました。

□大田区立大森第七中学校 鶴貝 秀明

保健体育科の教員、また管理職として諸先輩の皆様にご指導、助言により育てていただきました。30数年の教員生活を無事勤めることができたことに感謝する次第です。その間、沢山の生徒の成長を見ることができた喜びを次代の先生方に伝えることができたと感じております。

□大田区立大森第十中学校 飯島 睦子

「退職」という言葉は、遠い存在のように思っていました。あつという間に我が身に迫ってまいりました。長い年月を、多くの皆様に支えられ、鍛えられてきました。微力ながら、全身全霊で学校経営に邁進できたのは、皆様のお力添えの賜と、心より感謝申し上げます。

□大田区立糞谷中学校 北村 隆

大田区で教員生活のスタートを切り、世田谷区、豊島区、最後に大田区に戻り退職を迎えました。37年間、多くの皆様から「温かい心遣いや励ましのお言葉」をいただきましたことに心より感謝申し上げます。今後は、何らかの形で恩送りしていきたいと考えております。

□世田谷区立梅丘中学校 伊藤 聡保

36年間の教職人生が一区切りを迎えます。特に校長になってからは、その責任の重さを痛感させられる一方、充実感をもって仕事を行うことができました。これもひとえに皆様に悩みを聞いていただいたり、アドバイスをいただいたりしたおかげだと感謝しております。

□世田谷区立富士中学校 小松 昌之

教職生活38年、足立区、江東区、練馬区、世田谷区にお世話になりました。生活指導主任、教務主任、教頭、副校長、校長として、多くの方からご指導をいただき、感謝申し上げます。定年退職ということばの響きに感動有り、感慨深いです。ありがとうございました。

□世田谷区立烏山中学校 飯塚 和彦

昨年度まで、この退職校長一言集の原稿をまとめていた自分が、いよいよ自分の原稿を載せていただく番になるなんて、月日の早さを改めて感じます。ここまでやってくることができたのは、沢山の皆様のお力です。多くの皆様に感謝申し上げます。

□渋谷区立原宿外苑中学校 白倉 昌裕

長い間お世話になりました。生徒の皆さん、教職員の皆さん、地域の皆さんをはじめとする多くの方々との出会いが毎日の喜びであり、原動力でした。

□渋谷区立渋谷本町学園中学校 大橋 明

小中一貫校に異動になり、東京都中学校長会に加えていただきました。初めての中学校の校長職で戸惑うこともたくさんありましたが、区の中学校長会、都の中学校長会の皆様方にご指導をいただき、なんとか終えることができました。ありがとうございました。

□中野区立第二中学校 池田 浩二

夢中で走り抜けた教員生活でした。最初に卒業させた生徒たちを引率して式場を出た瞬間にあふれだした涙を忘れることができません。その時の感動は60歳になった今も続いています。忙しく、きつい職業ですが、大の大人が感動して泣ける、いい仕事だと思っています。

□中野区立第五中学校 増田 稔

全国的に中学校が荒れていると言われていた時代に教職に就き、ただ、ただ、目の前の生徒たちに、将来への限らない夢を抱かせようという想いで一心不乱に駆け抜けてきました。退職という実

感が全然わきませんが、一貫して信念がぶれなかった自分自身に驚いています。

□中野区立北中野中学校 関 年隆

都立養護学校、品川区、文京区、中野区での36年間の教員生活でした。先輩の先生方に丁寧なご指導を受け、教員生活をスタートし、管理職になってからは多くの仲間や先生方に支えていただきました。充実した教員生活でした。感謝申し上げます。ありがとうございました。

□中野区立中野中学校 矢口 仁

37年間の教員生活……諸先輩、同僚、保護者、生徒、地域関係者……様々な方々の温かな気持ちに囲まれ、支えられ、育てられてきました。その方々への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。「一生感動 一生青春！」

□杉並区立高円寺中学校 橋本 剛

たいへんお世話になりました。おかげさまで無事に退職の時を迎えることができました。これも校長会の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。今年は中学校教育70年という節目の年となります。次の10年間に向けて校長会のご発展を心より祈念申し上げます。

□杉並区立天沼中学校 藤川 章

子どもの頃ガキ大将だった私は、校長としても最後まで「ガキ大将」だった。ゼネラリストとして、スペシャリストとして研鑽を重ねたが、結局、全員の個性が生かし切れるかどうかである。学んできた教育カウンセリングのおかげで、よいチームが育ち、良い経営が実現した。

□杉並区立東原中学校 渡辺 宏

校長として9年間職務を全うさせていただきました。教育改革、学力・体力向上、人材育成等、公教育を推進していく上で多くの課題が津波のように押し寄せ、一人の力では到底解決しきれない状況の連続でした。そのような中、都中学校長会の存在が大きな支えとなりました。

□杉並区立宮前中学校 渡邊 裕子

まだまだ道半ばの感を受け、退職の年を迎えたことが不思議です。多くの方々を支えられ、校長職も大過なく送られたことに感謝しております。私のエネルギー源は、生徒の姿や貪欲な好奇心であろうと思います。これからも私自身の学ぶ姿勢を保っていきたいと思っています。

□豊島区立駒込中学校 飯島 光正

旧豊島区立道和中学校を皮切りに4校13年間校長としてお世話になりました。都の校長会では、平成26年4月に都校長会定期総会を帝京平成大学にて行い、実行委員長として東奔西走したことが印象的です。今後の都校長会のご発展を心より願っています。

□豊島区立西巣鴨中学校 脇田 禎彦

教職生活35年が経過しようとしています。振り返ると、学生運動が終息を迎える頃に高校で学び、荒れる中学校が峠を越えた頃に教員としての第一歩を踏み出しました。そのことを含めて、激動の最中を駆け抜けてきたような印象を持ちつつ日々の職務にあたっています。

□豊島区立池袋中学校 堀 利光

まさか自分が定年退職を迎えるとは全く実感がありません。一体誰のこと？今日まで「あつという間」でした。私のような者が定年まで勤め上げ、校長として退職を迎えることができたのも、関わった多くのおみなさんの支えと励ましがあったからです。ありがとうございました。

□北区立十条富士見中学校 高木 潤也

5区9校、都研1年、多くの方との出会いがありました。18年の管理職生活でペアを組んだ校長・副校長は合計12名、周りからは「不思議な運命」と言われますが、経験から多くのことを学ばせていただきました。お世話になった皆様に、心から感謝いたします。

□北区立神谷中学校 島津 睦雄

3月31日をもって教職経験40年の定年を迎えることができます。初任校は養護学校であり、北区に異動してからは遠距離通勤者となり、毎日5時間弱かかっています。校長職では小学校も経験し、教員生活での財産にもなりました。長い間、ありがとうございました。

□荒川区立第五中学校 大野 幸男

教職について38年。生徒の何気ない一日一日の積み重ねに成長をみる日々であったが、それだけに刺激と感動で充実した時が過ぎたように思う。これも諸先輩方、同僚の皆様方のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

□板橋区立板橋第二中学校 坂田 博美

37年間、東京都公立中学校にお世話になりました。また、管理職としての18年間、厳しい状況や苦い経験もありました。その間、多くの先生方からご指導、ご支援、励ましを賜りました。感謝の気持ちで一杯です。誠にありがとうございました。

□板橋区立赤塚第一中学校 大河原 嘉朗

保健体育科教員、バスケットボール部顧問の頃が懐かしく思い出されます。教員で3校、管理職で5校勤務しました。本務の他に都中体連の仕事にも携わりました。どの学校・組織でも多くの先生方、そして板橋区校長会の皆様に支えていただいたことは、一生忘れません。

□練馬区立開進第一中学校 古山 真樹

あつという間の36年間、無我夢中で突っ走ってきたという感じです。その中で、多くの生徒たちとの出会い、また、自分を支えてくれた多くの先輩・同僚たちとの出会いに感謝、感謝。そして、教師という天職に出会えたことが人生最高の喜びです。ありがとうございました。

□練馬区立練馬中学校 柴田 伊知郎

管理職選考の変動の時期の13B。要綱に、合格後教育困難校に異動と明記されていました。2年の研修期間のはずなのに、赴任先では1年学年主任となりました。1年で異動となった時に、校長先生に伺ったところ、3年いると思っていたとのこと。ありがとうございました。

□練馬区立石神井西中学校 松丸 晴美

36年を顧みて特に思い出深いのは、担任としての日々、幾度も退職しようと悩み苦しんだ新任校長の日々、そして視野を広げてくれた日本人学校での日々です。

定年まで仕事を続けてこられたのも、多くの方々や家族の支え、励ましのお陰であると心より感謝しています。

□足立区立第四中学校 高橋 淳

自校の課題に向き合い、必要な手立てを講じ、課題解決のために一生懸命取り組んでいるか、を常に自問自答しながら職を継続してきました。その取り組みが、国や都の方向性と一致しているかどうかとも悩みながら、この職の責任の重さを改めて感じています。

□足立区立第六中学校 渥美 弥寿夫

今思えばあつという間だった38年間、嬉しかったこと、辛かったこと、いろいろありましたが、充実した日々でした。お蔭様で何とか無事に定年という一つの節目を迎えることができそうです。これまで支えてくださったたくさんの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

□足立区立上沼田中学校 保坂 朗

足立区で校長として3校経験しました。この間、学校経営に関して楽しいことだけでなく、言葉にできない苦労や辛さもありました。そのような時、先輩の校長先生や仲間を支えられたことが忘れられません。色々お世話になり、有難うございました。

□葛飾区立四ツ木中学校 桶田 岳宏

専門を深めようと教職に就きましたが、下町の驚くほど複雑な環境で育つ生徒達の健全育成にこだわり続け、生徒指導一筋の人生でした。頼れる教師の育成を志して管理職となった今、教育のみならず重要なのは人材であると達観しました。その一助となれたことが誇りです。

□葛飾区立立石中学校 天羽 均

昇任した時の事務局長が中学3年の時の担任だったという縁があり、以来12年間、本会で多くの人たちと交流を深めることができ、また、多くのことを学ぶことができました。5年前の葛飾区での総会は、今でもいい思い出です。もう少しお世話になるかもしれません。

□江戸川区立小松川第三中学校 加藤 義行

教職生活37年7ヶ月。そのうち4年2ヶ月校長職を務めさせていただきました。教員時代も、管理職としても、力不足の私をいつも支えてくださいました多くの皆様のお陰でここまで務めることが出来ましたことに、ただ感謝の思いしかありません。ありがとうございました。

□江戸川区立松江第五中学校 新田 真起雄

教職生活38年。校長職を7年務めさせていただきました。多くの皆様のお陰でここまで務めることが出来ました。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

□江戸川区立南葛西中学校 加藤 益弘

赴任校の課題をなんとか解決・修正しようと努めてまいりましたが、未だに方向も定まらないことも多く心残りです。今後まだまだ多くの課題が山積している現場での皆様のご奮闘をご期待申し上げます。お身体にはくれぐれもご留意くださいませ。

□江戸川区立清新第一中学校 阿久津 勝利

附属中・高から指導主事として入都、指導行政10年、校長職として江戸川区で3校12年勤めさせていただきました。研究発表4回、周年2回。多くの方々との出会いで築いたネットワークが私の大きな支えでした。お世話になった本会に十分なお返しができず悔いています。

□江戸川区立清新第二中学校 遠藤 直人

社会人から教職生活へ。「思いを形に」を胸に、ここまで歩んできました。思いばかりが先行して、「先生」らしい実践ができたかどうか。「校長」らしい学校づくりができたかどうか。たくさんの生徒と先生方に育てられながらの教職生活でした。ありがとうございました。

□江戸川区立小岩第二中学校 橋本 孝

校長会には、5年7カ月間籍を置かせていただきました。今、昇任当時の事を思い返すと、退職を迎えることなど全く考えても見ませんでした。いよいよこの日が来たなと思うと、寂しい限りです。今まで公私ともに支えていただいた、校長会の皆様に感謝申し上げます。

□八王子市立第四中学校 市村 扶二夫

気がつけば、あっという間の35年間でした。5地区8校で教員生活を送らせていただき、多くの方々を支えられ、様々な経験をさせていただきました。お世話になった皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

□八王子市立第六中学校 今井 啓之

教員人生38年。校長として12年3か月。何とか無事に終わりました。初めて校長となった福生では、校長職の何たるかを教えてもらいました。後は、初任校に校長として赴任させて頂き、最後は、母校で校長職を終わることができました。多難な時でしたが感謝です。

□八王子市立ひよどり山中学校 石塚 克美

教員・管理職として各地域・学校で勤務する中、学校・家庭・地域の各役割と取組、連携、協働が益々重要だと実感しています。教職員・保護者・地域の共通の願い「子どもにとって真に良かれ！」を再認識し、今後も様々な形で私なりに発信、実践したいと考えています。

□八王子市立石川中学校 山口 俊浩

「山口教頭先生は来春に昇任するらしい。昇任前に事故を起こさないように、万全を期してやろう。」この学校管理員さんの打ち合わせの一コマが、後ほど私の耳に入った。嬉しかった。多くの方から支えられて今がある。感謝の気持ちで一杯だ。「ありがとうございました。」

□八王子市立横山中学校 鈴木 康弘

昭和54年4月、八王子市立浅川中学校で始まった38年間の教員生活であった。無我夢中で部活動中心に突っ走っていた20代、教科指導に力を入れた30代、そして学校運営に魅力を感じながら全力投球してきた40代、50代。全ての方々に、感謝・感謝である。

□八王子市立館中学校 齋藤 博志

教師として、また管理職として、多くの方に支えられ、多くの生徒に関わられたことに感謝しています。教師としての日々は、私の宝物です。あり

がとうございました。

□八王子市立元八王子中学校 高塚 健治

初任の神津島村立神津中学校から8校の経験で定年退職を迎えます。特に、副校長4年半、校長10年の月日は、常に「自分が管理職で本当に良かったのか？」という自問自答の毎日でした。しかし、みなさんに支えられ、悔い無しの最後を迎えられますことに、心から感謝です。

□八王子市立榎原中学校 堀江 朋子

36年間の教員生活、長いと感じた日もありました。しかし終わってみるとすべてよし。毎日の中で、上司や先輩、同僚、そして子供達や保護者から教師としてはもちろん人としての在り方、生き方を学ぶことができて幸せだったと感謝の気持ちで一杯です。

□八王子市立浅川中学校 大矢 芳生

昨年、最初の教え子たちの同窓会に招かれました。50歳になった教え子たちは、その当時の面影を残しながらも、社会に貢献をしている立派な大人になっていました。微力ではありましたが、人を育てる場で38年間取組んできたことに誇りをもって現役を終わりたいと思います。

□立川市立立川第七中学校 大神田 佳明

教職に就き38年間、思春期の多感な生徒に向き合い成長を実感しながら仕事ができただけは財産であり誇りです。管理職として4校、特に小学校と中学校での校長職は、子供たちの成長を9年間のスパンで見直す貴重な経験でした。支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

□立川市立立川第八中学校 山口 真一

初任校である打越中から35年間、多くの方々に支えられて教員生活を全うすることができました。管理職になってからは、学校がいかに地域の皆様にご支援をいただいているかを実感しました。今日までご指導、ご支援を下された皆様方に感謝申し上げます。

□三鷹中央学園三鷹市立第四中学校長 賞雅 枝子

管理職としてこれまでたくさんの校長先生方に出会い、助けていただきました。ご指導いただき、心よりお礼申し上げます。人生の出会い、我が中学校時代の野口和子先生、立川第一中学校時代の遠藤純夫校長先生、大学時代の剣道師範関根日吉・伊能敬先生に感謝して。

□青梅市立西中学校 田中 伸佳

川崎市の中学校をスタートに、東京都日野市・青梅市・八王子市・武蔵野市で中学校の教員として授業をはじめ学級指導や部活動の指導を通して生徒たちに関わってきました。最初に出会った生徒たちは、今50歳。現在も連絡を取り合っている生徒もいて、嬉しい限りです。

□調布市立第七中学校 吉岡 俊幸

本来子供には、「伸びよう成長しようとする力」や「時代や社会の変化を主体的に受け止め適応する力」が備わっていると私は信じます。木々が大地に根を張り幹を太らせ枝葉を茂らせるように、子供達が新しい時代を自らの手で切り拓き逞しく成長していくことを願っています。

□町田市立南中学校 大川 武司

愛知・町田・八王子・在外教育施設と地理的に広範囲で、異文化の環境の中で教師生活を送りました。生徒、保護者、地域の方、先輩や同僚、後輩など多くの皆様に御支援いただき、定年を迎えることができました。ありがとうございました。

□町田市立成瀬台中学校 石上 昌弘

いよいよ38年間の教職生活を卒業する日を迎えます。この間、品川・世田谷・八王子・町田の8校でお世話になりました。校長としては最後の4年間だけでしたが、都校長会の皆様から様々なご支援をいただき、勤めることができました。誠にありがとうございました。

□町田市立鶴川第二中学校 千田 実

「運」と「縁」に恵まれた教員生活でした。新採で着任した学校では、教師としての在り方を教えて下さった先生と出会えました。管理職になったときも、良い教職員・地域・保護者・生徒達・副校長会・校長会との出会いに恵まれました。心から感謝しています。

□小金井市立緑中学校 神田 正美

教員に採用され、社会人として立ち上る誇りを感じた。同時に、教えることの怖さに気づいた。高揚と消沈の混在する教員生活は奥が深い。それが魅力でもある。校長になってからは、消沈し悩む教員に誇りと自信を取り戻させようと努めた。これがまた奥深かった。

□小平市立花小金井南中学校 来間 正明

青梅市で採用され、東大和市、昭島市そして小平市で教職の最後を迎えることができました。この38年間、色々なことがありましたが、子どもたちと楽しく過ごせたことを嬉しく思います。多くの先生方にご指導やご助言等をいただき、誠にありがとうございました。

□東村山市立東村山第二中学校 松本 康夫

念願の教師になって36年。目の前のことに追われる日々、気が付けばこの時を迎えていました。それだけ充実していたということでもあると思います。思い出すのは失敗したことばかり。そしてその時に支え助けてくれた多くの方々のこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

□東村山市立東村山第五中学校 高野 和美

新採3日目で辞めようと思った教職でしたが、多くの皆様に支えられて今日を迎えることができました。思いがけず小学校に勤務できたことはこの上ない幸せな体験でした。振り返れば恥ずかしいことばかりが先にたちます。申し訳ありません。ありがとうございました。

□国分寺市立第五中学校 石川 鋭一郎

34年間お世話になりました。中学教師としての喜びと苦悩、管理職としての苦悩と喜び、そこには多くの支えがあり、今日まで導いてくださいました。今後も、微力ながらも東京都の子供たちのために何かできたらと思います。長い間、本当にありがとうございました。

□東大和市立第二中学校 松村 正博

30歳になる年に教員になりました。実はすぐにやめるつもりでしたが「無責任だ!」と先輩にひどく叱られ…今に至ります。多くの素敵な先輩、

多くの子供たちと過ごす日々の中で、いつしかこんな学校を創りたいと思うように…。もう少しがんばってみようと思います。

□東大和市立第三中学校 志田 裕治

時の流れとともに新たに取り組むべき課題の数々。また、日本を取り巻く世界情勢の変化など、これからの教育も大きな変化への対応に努めていかなければなりません。私は退職いたしますが、皆様のお力でよき日本の教育をさらに発展していただければと思います。

□東久留米市立東中学校 松田 正

入都以来30年、多くの先輩方からのご指導があつて今の自分があります。中でも歴任した学校の校長先生には、「管理職は慣れてきた頃を気をつけよ」「学校から火だけは出すな」等数々ご指導いただきました。退職に当たり、今後の東京都の教育の発展をお祈りいたします。

□武蔵村山市立第三中学校 栗原 伊知郎

昭和60年に東京都の教員として採用されました。教員、副校長、校長としての32年間はあつという間でした。この間、保護者、地域からの温かい御支援や多くの先輩の御指導、御助言をいただき、何とかここまで来ることができました。ありがとうございました。

□稲城市立稲城第一中学校 清水 亨

33年を振り返り、おもしろかったのは教員、やり甲斐が在ったのは副校長、生き活きと職務に取り組む姿を觀て笑顔でいられたのは校長の時でした。都校長会の皆さま、ありがとうございました。

□稲城市立稲城第二中学校 安達 恒三

管理職19年を振り返るにあたり、ご指導して頂いた諸先輩方や同僚の皆さんにお世話になりましたことに心より感謝申し上げます。「子どもは、家庭で育ち、学校で学び、地域で生かされる。」この言葉を胸に秘め、今後とも微力を尽くしていきたいと思います。

□あきる野市立御堂中学校 飯室 治夫

教員は9月1日、副校長9月1日、校長6月1日と年度途中での採用や昇任でした。野球に例えると中継ぎか抑え投手でしたが、勤務校すべてにおいて良い出会いがあり、良き先輩、良き職員、良き生徒に恵まれ定年まで勤務することができました。ありがとうございました。

□新島村立式根島中学校 渡辺 徹

大荒れの56年に中野区からスタートした教員人生でした。小笠原で管理職となり、島しょ教育の意義深さを感じて20年。式根島で自分の教員人生を締めくくることができ嬉しく思います。同じ時間を過ごした全ての人たちに支えられ、育てられた事に深く感謝いたします。

□昭島市立拝島中学校 渡辺 英俊

これまでに勤めた学校のうち、2校が閉校となっていました。初任校は極小規模校だったので、「一人一人を丁寧に指導する」ことを学びました。校長先生方からご指導を受けたことを宝としてこれからも精進して参ります。ありがとうございました。